

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域生活支援事業所 ほほえみ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 25日		2025年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 25日		2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・学校と連携を図りながら支援を実施していること。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童や保護者から学校との連携を強化してほしいと相談・要望があった時は適宜関係機関連携を実施している。 ・学校から、利用児童についての相談があった時は、しっかりと連携を図る時間を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスでの発達支援内容や、活動内容を学校と情報共有することで更に連携が深まると考えられる。
2	地域の学校と、特別支援学校からの児童を受入れているためインクルーシブな関りが期待できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・SST等の集団活動を通して、お互いを尊重する関わり方を学んでいる。また、地域の学校からの利用児童には、肢体不自由児との良好な関わり方を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校へ通う児童は、肢体不自由のある方と接する経験が少ないため、将来社会を支えていく一員として障害者に対する理解や、お互いに助け合う暖かい心を養うことができると期待される。
3	児童発達支援が同事業所内に設置されているため、連携を図りやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援の卒園児の受け入れ先として、安心してご利用いただけるように放課後等デイサービスの支援員が応援に入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校進学前から利用児童の情報を共有したり、支援に入ったりすることで理解が深まったり信頼関係を構築することができ、充実した支援を提供できると考えられる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	気象の影響(降雪)を受けやすく受入れが難しいことがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が高台に立地しているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・降雪～事業所前の道路は地域の方々が早めに融雪剤をまいてくださったり、道路の状況を利用者さんとご家族へ安心・安全メールで伝えたりと安全にご利用できるようにしている。
2	きょうだい児同士との交流イベントや、きょうだい児への支援ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以降、施設全体でのイベントを縮小しており家族で参加できるイベントがなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい児、ご家族が交流できる機会を作る。
3	事業所の行事に地域の方々を招待するなど地域に開かれた事業運営ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以降、施設全体でのイベントを縮小しており地域の方々が参加できるイベントがなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々が参加したくなるようなイベントを計画する。